

# electro-harmonix

## ATTACK DECAY Tape Reverse Simulator

非常に入手が困難で伝説的なギターペダルとも言われるオリジナルのAttack Decayは、元々はTape Reverse Simulatorと呼ばれており、ボリュームやリバースのスウェル、逆再生テープサウンドの他、意図的なショートスタッカートや楽器を弓弾きしたようなエフェクトを生み出します。

新しいElectro-Harmonix Attack Decayでは、基本的な機能はそのままに、Polyモードやプリセットなどのより現代的な機能を追加して、ヴィンテージのユニットを再解釈しています。オリジナルのようなモノフォニック・ボリューム・エンベロープはもちろんのこと、Polyモードでは演奏する各ノートに別々のボリューム・エンベロープを付加することも可能です。内蔵のHarmonixファズは、Gain、Tone、Volumeコントロールを搭載したフルコントロール可能なディストーションです。エフェクトループでは、Returnジャックに入力される全ての信号に対してボリューム・エンベロープを配置することができます。エクスプレッション・ペダル/CVインプットと3つのプリセット機能により、Attack Decayを完全にコントロールします。

**注意:** Attack Decayにはelectro-harmonix 9.6DC-200mAアダプターが付属します。本機の消費電力は9VDCセンターマイナス/140mAです。間違ったアダプターを使用すると故障の原因となり、保証対象外となりますのでご注意ください。10.5VDC以上の電圧でのご使用はお止め下さい。140mA未満の場合動作が不安定になる可能性があります。

### - 機能 -

- 4ms~8sの範囲で設定可能なAttackとDecayタイムによるボリューム・エンベロープ・スウェルやスタッカートエフェクト
- Monoモード: 1つのボリュームエンベロープタイムを設定し、新しい音が入力されるとリセットされます。
- Polyモード: EHX HOG2同様に、各入力音ごとに設定したエンベロープがかかります。
- 内蔵のHarmonixファズはボリュームエンベロープエフェクトを際立たせたり、楽器を弓弾きしたようなサウンドを生み出します。
- 内蔵のエフェクトループによりボリューム・エンベロープの前に他のペダルをインサートできます。
- Attack Decayの全てのノブをコントロールするエクスプレッション・ペダル/CV(コントロールボルトージ)
- コンティニューアス・エンベロープにより、アタックエンベロープが自動的に再起動するリトリガブルのトレモロとしても使用可能。
- 3プリセットまでセーブ/リコール可能なプリセット機能
- ハイクオリティ・アナログ・バッファード・バイパス
- JP9.6VDC-200mA アダプター付属

## 目次

---

仕様 .....	3
クイックスタートガイド .....	3
コントロールとLED .....	5
接続端子 .....	8
MONO/POLYモード .....	9
エクスペッション・ペダルの使用とセットアップ .....	10
プリセットの設定/使用方法 .....	11
エフェクトループ(SEND/RETURN) .....	13
ファクトリーリセット(工場出荷時の状態に戻す) .....	14
セカンダリーモードとオプション機能 .....	15
Attack Decayのヒント .....	20
セカンダリーモード一覧と設定方法 .....	22

## 仕様

---

- INPUTジャックのオーディオ入力インピーダンス: 1MΩ
- OUTPUTジャックのオーディオ出力インピーダンス: 500Ω
- SENDジャックのオーディオ出力インピーダンス: 500Ω
- RETURNジャックのオーディオ入力インピーダンス: 2MΩ
- 消費電流: 140mA
- 最大入力信号レベル: +4.0dBu
- 最大ゲイン: 約+13dB

## クイックスタートガイド

---

### Attack Decayの接続

1. Attack Decay の上部に配置されている 9V ジャックに付属の JP9.6DC-200 アダプターを接続します。
2. ギターやその他の楽器を 1/4" モノフォンケーブルを使用してINPUT ジャックに接続します。同様に 1/4" モノフォンケーブルで OUTPUT ジャックとアンプのインプットを接続します。

### ボリュームスウェルエフェクトの設定

1. Attack Decay の左上にある PRESET もしくは POLY ボタンが点灯していないことを確認してください。ボタンが点灯している場合はボタンを 1 回押しと消灯します。
2. 左側のフットスイッチの上にある H LED を OFF にします。H LED は Attack Decay に搭載されているビルトイン・ファズの ON/OFF を切り替えます。H LED が点灯している場合は左側のフットスイッチを 1 回押しして OFF にしてください。
3. BLEND ノブを最大にします。この設定でボリューム・エンベロープエフェクトのシグナルだけを出力でき、ドライシグナルはミックスされない状態です。
4. DECAY ノブを最大に設定します。ATTACK ノブを 10 時の方向に設定します。
5. VOL ノブを 50%からスタートします。演奏後に必要に応じて調節してください。
6. 同様に SENS ノブも 50%からスタートします。各音でエンベロープがトリガーしない場合は SENS ノブを上げ、トリガーの反応が強すぎる場合は下げてください。
7. POLY ボタンを押すと POLY モードが ON になります。必要に応じて ATTACK ノブを上げてください。

### Harmonixファズの使用

1. 望んだエンベロープエフェクトを得るには上記設定を行ってください。
2. POLY ボタンが点灯している場合は POLY モードを無効にします。
3. ファズのボリュームが大きくなる可能性があるため、H.VOL ノブを 9 時方向に設定します。
4. 左側のフットスイッチを押して、内蔵の Harmonix ファズを ON にします。
5. 右上隅にある 3 つの小さなノブで Harmonix ファズの音を調整します。HARMONIX ノブはゲイン / サチュレーションの量、TONE ノブは音色の明るさ、H.VOL ノブはファズの音量コントロールです。

### コンティニュアス・エンベロープ(トレモロ)

1. POLY ボタンが OFF になっていることを確認してください。
2. ATTACK と DECAY ノブを 9 時方向に設定します。
3. SENS ノブを 50%もしくは任意のポジションに設定します。
4. BYPASS フットスイッチを長押しします。
5. HARMONIX フットスイッチを押します。長押しする必要はありません。
6. BYPASS フットスイッチを離します。
7. 演奏すると、一度ディケイ・エンベロープが終了すると自動的にアタック・エンベロープがリスタートすることを確認できると思います。
8. POLY モードでも同様の機能が使用できます。POLY ボタンを点灯させた状態で手順 2 から設定を行ってください。

### カスタムエクスプレッション・スイープの設定

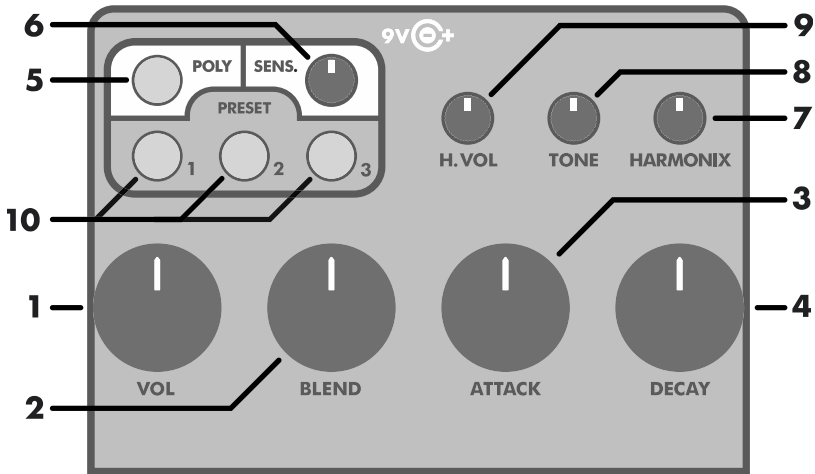
1. この例では、DECAY ノブのカスタムのエクスプレッション・スイープを設定することが可能です。下記手順に沿って、様々なノブにアサインが可能です。
2. 互換性のあるエクスプレッション・ペダルが EXP ジャックに接続されていることを確認してください。
3. BYPASS スイッチを長押ししながら PRESET 1 ボタンを押します。
4. PRESET 1 LED と BYPASS スイッチの近くにあるステータス LED が点滅を始めます。
5. DECAY ノブを 50%のポジションまで回します。この操作はエクスプレッション・ペダルのヒール(かかと側)ポジションに割り当てられます。
6. PRESET 1 ボタンを押します。両方の LED が素早く点滅します。
7. DECAY ノブを最小値に設定します。この操作はエクスプレッション・ペダルがトウ(つま先側)ポジションに割り当てられます。
8. PRESET 1 ボタンを押します。両方の LED が 1 秒ほどさらに早く点滅し止まります。
9. エクスプレッション・ペダルを動かします。ヒールからトウにペダルを動かすとディケイタイムが短くなります。
10. 他のノブや複数のノブを同じような手順でアサインしてみてください。

### プリセットのセーブ

1. Attack Decay のお好みのセッティングを作ります。
2. セッティングをセーブするプリセットスロットを選択します。例えば PRESET 2 を選んでみましょう。
3. PRESET 2 ボタンを長押しします。その後、1 秒ほど全ての PRESET ボタンが点滅し、2 秒後には点滅が止まります。
4. LED の点滅が止まったら PRESET 2 ボタンを離します。
5. セーブ完了です。
6. プリセットをリコールするには呼び出したいプリセットボタンを押します。リコールされたプリセットに該当するボタンは点灯します。

# コントロールとLED

## - コントロールノブとボタン -



1. **VOL ノブ** - Attack Decayのマスターのアウトプットレベルを設定します。

2. **BLEND ノブ** - INPUTジャックから入力されたドライビングナルとAttack Decayのエフェクト信号とのミックスバランスをコントロールします。BLENDの出力はVOLノブにダイレクトに送られます。BLENDノブを時計回りに回すとエフェクト信号は増加し、ドライビングナルは減少します。

- オプションとして、ボリューム・エンベロープに入力される前のドライビングナルと Harmonix のミックスバランスを調整することで、ヴィンテージの Attack Decay の HARMONICS ノブを再現します。これにより、ボリューム・エンベロープによるクリーンとファズのトーンのミックスを行えます。BLEND ノブを時計回りに回すと、ファズのボリュームが増加しクリーン信号のボリュームが減少します。Harmonix のブレンドの詳細は P.15 をご参照ください。
- BLEND コントロールには、ボリューム・エンベロープの出力と RETURN ジャックの出力をミックスする 3 つ目のオプションがあります。これを行うには、リターン・ブレンドモードを有効にし、RETURN ジャックにプラグを接続する必要があります。詳細は P.16 をご参照ください。

3. **ATTACK ノブ** - ボリューム・エンベロープのスウェル、もしくはフェードインスピードを設定します。ノブを時計回りに回すと、アタックタイムが増加します。ATTACKノブを最小にするとエンベロープのアタック部分がなくなります。アタックタイムのレンジはモノラル・モードで4ms~8S(秒)までです。

**4. DECAY ノブ** - ボリューム・エンベロープのスタッカートやフェードアウトのスピードを設定します。DECAYノブを時計回りに回すとディケイ・タイムが増加します。DECAYノブを最大にするとエンベロープのディケイ部分がなくなります。ディケイ・タイムのレンジはモノラル・モードで4ms～8s(秒)までです。

**5. POLY ボタン** - 押す度に、モノラルモードとポリフォニックモードを切り替えます。POLYモードがONの時、ボタンが点灯します。

#### **6. SENS ミミノブ**

MONO:POLYをOFFにした状態でAttack Decayを使用している間、SENSノブはINPUTジャックから入力される信号に対するスレッシュホールドを設定し、ボリューム・エンベロープのスタートやリスタートをトリガーします。

- SENS ノブを時計回りに回すとトリガーによるリセットがより早くなります。
- ボリューム・エンベロープがトリガーされるたびに、エンベロープのアタック部分が最初に実行され、その後すぐにエンベロープのディケイ部分へと移ります。

POLY ON:POLYモードが有効の場合、SENSノブはMONOモードと同じ機能を持ちますが、範囲が制限されます。

- SENS をより高い設定に回すと、新しい入力音に対してのボリューム・エンベロープのアタック部分のトリガーがより容易になります。
- POLY モードが有効になっている間、SENS ノブは STTACK ノブと DECAY ノブが OFF ポジションになっていない場合のみ機能します。
- POLY モードで SENS が最大値に設定されている場合、ボリューム・エンベロープによりパブリングノイズが発生しますが不具合ではありません。

**7. HARMONIX ミミノブ** - 内蔵ディストーションのゲインとサチュレーションの量を調整します。H LEDが点灯している時のみ有効です。

**8. TONE ミミノブ** - Harmonixセクションのトーンを設定します。TONEノブを時計回りに回すと、ディストーションのトーンがよりブライトになります。

**9. H.VOL ミミノブ** - Harmonixセクションのアウトプットボリュームを設定します。H. VOLノブを有効にするにはH LEDが点灯している必要があります。

**10. PRESET ボタン 1, 2, & 3** - ボタンを押すとプリセット1～3のON/OFFが行えます。2秒程度長押しした場合、現在呼び出しているプリセットの設定をセーブします。

## - フットスイッチとLED -



**1. BYPASS フットスイッチとステータス LED** - BYPASSフットスイッチを押すとエフェクト ONとバッファード・バイパスを切り替えます。ステータスLEDが点灯している場合、Attack DecayはONです。マニュアルエンベロープ・トリガーモード時は、BYP ASSフットスイッチを使用して手動でボリュームエンベロープを行うことができます。詳細はP.17をご覧ください。

バイパス時にリターン・バイパスが有効の場合、RETURNジャックはOUTPUTジャックと接続されます。詳細はP.13とP.16をご覧ください。

**2. HARMONIX/PRESET フットスイッチ** - 初期設定では、このフットスイッチを押すとAttack DecayのHarmonixファズのON/OFFを切り替えます。また、プリセットの選択、ダイレクトモード、Liveモードを順番に切り替えるスイッチとしても使用できます。プリセット切替を有効にする場合、HARMONIX/PRESETフットスイッチを2秒間長押しします。P LEDが点灯したらフットスイッチを離します。詳細はP.12をご覧ください。

**3. H LED** - HarmonixファズがONの時、このLEDは点灯します。LEDが消灯している場合、ファズはOFFです。

**4. P LED** - MONOモードの時には、P LEDが短く点滅することでスレッシュホールドを超えてボリュームエンベロープがトリガーされたことを示し、点灯している場合はHARMONIX/PRESETフットスイッチでプリセットを切り替えられることを示します。P LEDの点滅は新しい入力を検知したことを示すため、SENSノブの調整に有効です。

**注意:** POLYモードが有効の場合、P LEDは入力を検知しても点滅しません。

## 接続端子

---

**INPUT ジャック** - この1/4"フォンジャックはAttack Decayのメインオーディオ入力です。入力インピーダンスは1MΩです。

**OUTPUT ジャック** - この1/4"フォンジャックはアタックディケイのメインオーディオ出力です。ボリューム・エンベロープやその他のエフェクトはこのジャックから出力します。出力インピーダンスは500Ωです。

**SEND ジャック** - この1/4"フォンジャックは、HarmonixファズがONのときにデフォルトで入力信号を出力します。このジャックをAttack Decayの外部FXループの信号の出力ソースとしてご使用ください。インピーダンスは500Ωです。

**RETURN ジャック** - この1/4"フォンジャックは、外部エフェクトループや他の楽器からの出力を受信します。このジャックから出力される信号は、Attack Decayの内部のボリュームエンベロープを通過します。このジャックに何も接続されていない場合は、INPUTジャックの信号(有効になっている場合はHarmonixセクションの出力)はボリューム・エンベロープを通過します。入力インピーダンスは2MΩです。

SENDおよびRETURNジャックの使用法の詳細とヒントについてはP.13を参照してください。

**EXP ジャック** - エクスプレッション・ペダルまたはコントロール・ポルテージ(CV)でAttack Decayの各ノブを外部コントロールすることができます。外部エクスプレッション・ペダルを使用するときのAttack Decayのセットアップやコントロールの方法については、P.10を参照してください。また、クロックパルスを接続して外部ソースからボリューム・エンベロープをトリガーする場合は、P.17を参照してください。

エクスプレッション・ペダルのプラグの極性は、Sleeveがヒール(かかと側)、Ringがトウ(つま先側)、Tipがワイパー部に接続される必要があります。公称のエクスプレッション・ペダルのインピーダンスは10KΩです。6kΩ以下のインピーダンスのエクスプレッション・ペダルは使用しないでください。

※推奨エクスプレッション・ペダル: electro-harmonix Expression Pedal, Moog® EP-3、Roland® EV-5、Boss® FV-500L

またEXP INジャックは、TSケーブルを使用するCV(コントロール・ポルテージ)に対応しています。コントロール・ポルテージの対応電圧は0~5Vです。トリガー・クロック・パルスの対応範囲は1.5Vpp~15Vppになります。

**9V 電源ジャック** - 付属のJP9.6DC/200mAアダプターのプラグをペダル上部の9V電源ジャックに差し込みます。Attack Decayは9V DC センターマイナプラグで、消費電流は140mAです。10.5VDC以上の電圧での使用はお止め下さい。140mA未満の場合動作が不安定になる可能性があります。



## MONO/POLYモード

---

Attack Decayには、MonoとPolyの2つのメインとなる動作モードがあります。POLYボタンが点灯しているときはPolyモード、消灯しているときはMonoモードです。

### MONOモード

Monoモードは、ヴィンテージのAttack Decayと同じように機能する、よりトラディショナルなボリューム・エンベロープを作り出します。

このモードでは、楽器から新しい入力が発出されるたびに、ボリューム・エンベロープがアタック・エンベロープの先頭にリセットされ、現在再生されている全ての音の音量がゼロから最大までスウェルします。エンベロープのアタック部分が終了すると、ディケイ・エンベロープがすぐに引き継ぎ、通常よりも早く音量を下げます。例えば、スタッカートのような途切れるサウンドを作り出します。

このAttack Decayの現代的な再解釈には、MonoモードとPolyモードで使用できる多くの新機能がありますが、Monoモードでしか使用できない特別な機能強化が1つあります。

- エフェクトを微調整する3つの選択可能なアタックとディケイのエンベロープシェイプ：リニア、パラボリック（デフォルト）、Sカーブ

ボリュームカーブの詳細については、P.19を参照してください。

### POLYモード

PolyモードはAttack Decayのコンセプトを現代風にアレンジしたものです。演奏した音それぞれには、演奏されたまたは持続している他の音とは無関係に、別々のエンベロープが適用されます。EHX HOG2の先進的なテクノロジーを採用して構築されたこのモードは、単音に加えてアルペジオやコード演奏に特に効果的で、レイヤーが積み重ねられた豊かなサウンドに最適です。

- POLYモードは、特にギターやベースではアタックやディケイエフェクトがよりナチュラルなので、一部のプレイヤーにはこちらの方がプレイしやすいかもしれません。
- POLYモードは、例えばAttackエンベロープのみを使用している場合など、ボリューム・エンベロープの一部だけを使用するときに最もよく機能します。
- HOG 2と同じアタックエフェクトを得るには、DECAYノブを最大(OFF)にし、ATTACKノブを任意で設定します。HOG2のディケイエフェクトとは逆に、ATTACKを最小(OFF)に設定し、DECAYノブを任意で設定します。
- 特にATTACKノブとDECAYノブの両方が有効になっている場合、POLYモードではパブリングノイズが発生しますが、機器の不具合ではありません。Harmonix フォーズをPOLYモードで使用すると、このノイズが大幅に増加しますのでご注意ください。

## エクスプレッション・ペダルの使用とセットアップ

Attack Decayでは、本機のEXPフォンジャックにTRSプラグ接続で通常のエクスプレッション・ペダルとして、TSプラグ接続ではコントロール・ボルテージ(CV)またはクロックパルスでのコントロールも可能です。推奨のエクスプレッション・ペダルやボルテージ範囲などの仕様については、P.8を参照してください。

エクスプレッション・ペダルの設定を変更して、任意のノブまたは複数ノブの組み合わせの様々なセッティングをエクスプレッション・ペダルまたはCVでコントロールできます。

- エクスプレッションの設定はプリセットとともにセーブされます。
- ファクトリリセット後は、エクスプレッションはVOL ノブにアサインされます。
- Attack Decay のボリューム・エンベロープを外部クロックパルスからコントロールする方法については、P.17 を参照してください。

### エクスプレッション・スイープの設定

1. BYPASS フットスイッチを長押ししながら、PRESET 1 ボタンを1度押します。
2. 両方のボタンが押されると、BYPASS LED と PRESET 1 ボタンが中程度の速度で点滅します。点滅したらフットスイッチとボタンを離します。
3. Attack Decay の 8 つのノブのいずれかを、エクスプレッションペダルがヒール ( かかと側 ) の位置にあるときに任意の値に設定します。
4. PRESET 1 を 1 度押して、ヒール ( かかと側 ) の設定をセーブします。これにより、PRESET 1 ボタンとステータス LED が速く点滅するようになります。
5. 8 つのノブのいずれかを、エクスプレッション・ペダルがトウ ( つま先側 ) の位置にあるときに任意の値に設定します。ノブをエクスプレッション・ペダルでコントロールしない場合には、この時点で設定を動かさないでください。
6. PRESET 1 ボタンを1度押して、トウ ( つま先側 ) の設定をセーブします。
7. PRESET 1 とステータス LED が 1 秒間素早く点滅します。
8. これでエクスプレッションのカスタム設定が完了し、使用する準備が整いました。電源を OFF にしてもこの設定は消えません。
9. エクスプレッション・スイープは他の設定とともにプリセットにセーブされます。

### エクスプレッション・スイープの設定のキャンセル

- EXP ジャックにプラグを接続しているときに、現在エクスプレッション設定がされているノブを回すと、エクスプレッション・スイープの設定からそのノブが除外されます。
- 例えば、ATTACK と DECAF の両方をスイープするエクスプレッション設定を作成した場合、ATTACK ノブを回すと ATTACK ノブのみがエクスプレッション設定からキャンセルされ、DECAF ノブのみがスイープされます。
- この例で、次に DECAF ノブを回すとエクスプレッション設定から除外されるので、それ以降はペダルでノブをスイープしなくなります。

## プリセットの設定/使用方法

---

Attack Decayは3種類のプリセットの保存/呼び出しが可能です。プリセットには以下の設定がセーブされます：

- 全てのノブの設定
- エクスプレッション・ペダルのセーブ時のポジション
- Harmonix と POLY モードの設定
- 他にも、以下のセカンダリーモードの設定も保存されます：  
MONO モード時のエンベロープ・カーブ、コンティニューアス・エンベロープ (トレモロ)、  
Harmonix ブレンド、リターンブレンド、リターンバイパス、BYPASS スイッチでの  
トリガー、外部クロックでのトリガー、内蔵コンプレッサーの ON/OFF

### プリセットのセーブ

1. プリセットに保存したいサウンドに設定します。
2. 設定を保存したい PRESET ボタンを長押しします。
3. 1 秒後、すべての PRESET ボタンが素早く点滅します。
4. そのまま点滅が止まるまでボタンを押し続けます。ボタンを離すと、プリセットに設定が保存されます。

### プリセットの呼び出し

1. 呼び出したいプリセットに対応する PRESET ボタンを押すだけで、呼び出し完了です。
2. 使用中のプリセットに対応するボタンが点灯します。
3. 別の PRESET ボタンを押せば、そちらのプリセットが適用されます。
4. HARMONIX/PRESET フットスイッチを使ってプリセットを呼び出すことも可能です。  
こちらの使用方法は後述します。

### 元の設定に戻す

プリセットから現在のノブの設定(Liveモード)に戻したいときは、現在点灯しているPRESETボタンをもう一度押します。するとボタンが消灯して元の設定に戻ります。

### プリセット使用中に設定を変更する

プリセットを呼び出した直後はPRESETボタンが点灯しています。この状態でノブを回すなどして設定を変えると、ボタンが点滅しはじめます。これは呼び出したプリセットの設定から変更されていることを示します。

### 変更後にプリセットの設定に戻す

プリセットから設定を変えてしまった場合は、点滅しているPRESETボタンをもう一度押せば、セーブ時の状態に戻すことができます。

## 変更したプリセットの上書き保存

変更したプリセットは、上記と同じ手順で上書きセーブできます。同じプリセットナンバーはもちろる別のプリセットナンバーにセーブすることもできます。

## エクスペリションペダルのポジションについて

プリセットのセーブ時にエクスペリション・ペダルを接続していると、エクスペリション・ペダルのポジションも一緒にセーブされます。セーブしたプリセットを呼び出すと、ペダルが接続されていない場合でも、セーブ時のポジション通りの設定が適用されます。プリセット呼び出し後にペダルを動かすと、セーブ時と同じパラメーターを操作できます。

## HARMONIX/PRESETフットスイッチでのプリセットのコントロール

HARMONIX/PRESETフットスイッチは、デフォルト設定ではHarmonixディストーションのON/OFFとして機能しますが、このフットスイッチはプリセットのロードとサイクルを繰り返すように再設定することができます。

## HARMONIX/PRESETの機能を切替

1. HARMONIX/PRESET スイッチを長押しします。
2. 1 秒後、P LED が点灯します。これでフットスイッチの機能がプリセットの切替機能に変わったことを示します。Harmonix の ON/OFF はコントロールできなくなります。
3. P LED が点灯したら、フットスイッチから足を離します。
4. Harmonix の ON/OFF 機能に戻りたいときは、上記と同じ手順で操作します。
5. 電源を切った後も HARMONIX/PRESET スイッチの設定は変わりません。また、この設定はプリセットとしては保存されません。

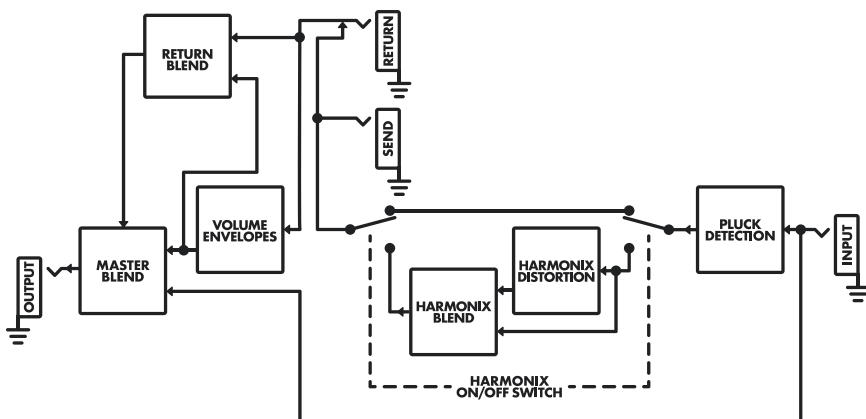
プリセット切替では、フットスイッチを踏むたびに1⇒2⇒3の順でプリセットが切り替わります。プリセット3の次は現在のノブの設定(Liveモード)に戻ります。もう一度踏むと再び1に切り替わります。

**注意：**フットスイッチをプリセット切替機能に変更したとき、変更時のHarmonixのON/OFF設定が保存されます。保存された設定は、プリセット3の次の現在のノブの設定(Liveモード)時に反映されます。

## エフェクトループ(SEND/RETURN)

エフェクトループ(SEND/RETURN)を使用することで、インプットとボリューム・エンベロープの間に他のエフェクトを挿入して使用することができます。Monoモードでは、INPUTに入力した楽器のアタック音をトリガーにして、RETURNへの入力信号にエンベロープがかかります。Polyモードでは、常にボリューム・エンベロープ部への入力信号がトリガーになります。

Attack DecayのSENDジャックからは、Harmonixエフェクト(ON時)とアタック検出の後 (=ボリューム・エンベロープの前)の信号が出力されます。RETURNジャックは、外部からの信号をボリューム・エンベロープに送ります。Monoモードでは、INPUTジャックへの入力信号(ドライ音)のアタック音をトリガーとしてエンベロープがかかります。これは、前段に接続したファズやリバースなどの影響で、ギターのアタック音が正しく検出されなくなることを防ぐためです。



### SEND/RETURN ジャックの使用に関するヒント

1. **デフォルトバイパス** : Attack Decay がバイパス状態の時、INPUT への入力信号は OUTPUT へスルーされます。この接続はアナログ方式のバッファードバイパスです。また、バイパス状態でも SEND からの信号は出力され、Harmonix が ON の時は本体がバイパス状態でも ON のままの信号が SEND から出力されます。
2. **リターンバイパス** : 設定を変更することで、バイパス時に RETURN への入力信号を OUTPUT へ流すことも可能です。この際のバイパスはデジタル方式です。リターンバイパス時にバイパス状態にすると、Harmonix が ON になっていても SEND から Harmonix エフェクトは出力されません。

3. Attack Decay を単なるディストーションとして使いたい時は、SEND ジャックをメインのアウトプットジャックとして使うこともできます。HARMONIX フットスイッチでディストーションの ON/OFF を切り替えます。H. VOL ノブはマスターボリュームコントロールとして機能します。この設定では、VOL、SENS、ATTACK、DECAY ノブは機能しません。
4. Mono モード時は、INPUT に接続した楽器のアタック音をトリガーにして、RETURN に接続した他の楽器にボリューム・エンベロープをかける、という使い方もできます。エフェクトをかけたい楽器を RETURN に接続して、トリガーとして使用したい楽器を INPUT に接続しましょう。INPUT ジャックに入力した楽器のアタック音を検知すると、RETURN ジャックに入力した信号にボリューム・エンベロープがかかります。

## **ファクトリーリセット(工場出荷時の状態に戻す)**

---

Attack Decay を工場出荷時のデフォルト設定に戻したい時は、BYPASS フットスイッチを押しながら電源アダプターを本体に接続します。

1. Attack Decay から電源アダプターのプラグを抜きます。
2. BYPASS フットスイッチを長押しします。
3. そのまま Attack Decay にアダプターのプラグを接続します。
4. 1つ以上のPRESET ボタンが光り始めるまで、BYPASS フットスイッチを押し続けます。
5. PRESET ボタンが点滅したら、BYPASS フットスイッチを離します。

これにより下記の設定が復元されます。

- 全てのプリセットが消えて、工場出荷時の設定に戻ります。
- カスタマイズしたエクспレッション・ペダルの設定が消えて、工場出荷時の設定 (アウトプットボリュームのコントロール)に戻ります。
- コンティニューアス・エンベロープ (トレモロ) は OFF になります。
- MONO モード時のエンベロープカーブは全て直線になります。
- 外部クロックや手動トリガーは OFF になります。
- 内蔵コンプレッサーが ON になります (MONO、POLY の両モード)。
- Harmonix は SEND ジャックの前段の位置に戻ります。
- リターンバイパスは無効になります。
- Harmonix ブレンド / リターンブレンドは、100% ファズエフェクトとリターン音の設定にそれぞれ戻ります。

## セカンダリーモードとオプション機能

---

Attack Decayには、ユーザーの用途に合わせてカスタマイズを加えるための多くのセカンダリーモードとオプション機能が搭載されています。セカンダリーモードの一覧と設定方法はP.22をご参照ください。

### コンティニューアス・エンベロープ(リトリガー・トレモロ)

ボリューム・エンベロープは、通常の場合アタック・エンベロープ⇒ディケイ・エンベロープの順番で作用し、その後に次の信号が入力されるまでアタックの開始位置で待機します。

コンティニューアス・エンベロープ(CE)モードを使用すると、ディケイ・エンベロープが終了するとすぐにアタック・エンベロープが再起動されることで、トレモロのようなエフェクトがかかります。トレモロのレートや波形はATTACKとDECAYノブで調節できます。ATTACKで音が立ち上がる時間、DECAYで音が減衰する時間をそれぞれ調節できます。

CEモードのON/OFF切替：

1. BYPASS フットスイッチを長押しします。
2. そのまま HARMONIX/PRESET フットスイッチを 1 回押します。その後に BYPASS フットスイッチを離します。
3. PRESET 1 ボタンが素早く点滅して CE モードが ON になっていることを示します。
4. CE モードを OFF にするには、1 と 2 の手順を繰り返します。すると PRESET 3 ボタンがゆっくりと点滅し、CE モードが OFF になったことを示します。

- プリセットのセーブ時は、各プリセットには CE モードの状態も保存されます。
- CE モードは Mono モードと Poly モードで別々に設定されます。

### Harmonixブレンドモード

デフォルトでは、BLENDノブはマスターのウェット/ドライ音のバランスを調節し、アウトプットをVOLノブへ送ります。Harmonixブレンドモードに移行すると、BLENDノブの機能が変わり、Harmonixファズ回路の直後におけるファズ/ドライ音のバランス調整を行います。Harmonixブレンドミックスはボリューム・エンベロープに出力されます。Harmonixブレンドは、ヴィンテージのAttack Decayに搭載していたHARMONICSノブを再現したものです。

Harmonixブレンドモードは一時的なモードで、このモードがアクティブな間はBLENDノブを使ってHarmonix Blendを設定できます。モードは以下の手順で使用します。

1. Harmonix モードが ON になっている (H LED が点灯している) ことを確認します。
2. BYPASS フットスイッチを長押しします。

3. そのまま PRESET 2 ボタンを 1 度押します。その後に BYPASS フットスイッチを離します。
4. PRESET 2 ボタンとステータス LED が異なる速さで点滅し、Harmonix ブレンドモードに入っていることを示します。
5. BLEND ノブを回してファズ / ドライのバランスを調節します。
6. この時にエクスプレッションの設定を行うと、エクスプレッション・ペダルは Harmonix ブレンドを調節する機能に設定することができます。
7. Harmonix ブレンドの調整が完了したら、PRESET 2 ボタンを押してモードを終了します。もしくは、点滅が終わるまで PRESET ボタンを長押ししてプリセットに設定を保存します。
8. 終了後、BLEND ノブはマスターのウェット / ドライ調節に戻ります。

### リターンブレンドモード

また、リターンブレンドを調節するモードも搭載しています。これはリターンジャックへの入力信号 (ノブを左に回した値) と、ポリウムエンベローブを経由した信号 (右に回した値) のバランスを調節します。リターンブレンドはマスターブレンドの直前に位置します。

リターンブレンドモードは一時的なモードで、このモードがアクティブな間は BLEND ノブを使ってリターンブレンドを設定できます。リターンブレンドモードは以下の手順で使用します。

1. RETURN ジャックにプラグが接続されていることを確認します。
2. BYPASS フットスイッチを長押しします。
3. そのまま PRESET 3 ボタンを 1 回押します。その後に BYPASS フットスイッチを離します。
4. PRESET 3 ボタンとステータス LED が異なる速さで点滅し、リターンブレンドモードに入っていることを示します。
5. BLEND ノブを回してリターン / エフェクト音のバランスを調節します。
6. この時にエクスプレッションの設定を行うと、エクスプレッションペダルはリターンブレンドを調節する機能に変わります。
7. リターンブレンドの調整が完了したら、PRESET 3 ボタンを押してモードを終了します。もしくは、必要に応じてプリセットボタンに設定を保存します。
8. 終了後、BLEND ノブはマスターのウェット / ドライ調節に戻ります。

### リターンバイパスモード

1. POLY ボタンと PRESET 3 ボタンを長押しします。
2. そのまま BYPASS フットスイッチを 1 回押します。その後に全てのボタンを離します。
3. ステータス LED が素早く点滅し、リターンバイパスモードに入っていることを示します。
4. リターンバイパスモードを終了するには、1 と 2 の手順を繰り返します。その後ステータス LED がゆっくりと点滅します。



## BYPASSフットスイッチを使った手動トリガー

Attack Decayは通常、入力信号が検出される度にエンベロープがトリガーされます。オプションとして、BYPASSフットスイッチを使って手動でエンベロープをトリガーする機能も搭載しています。

モードの起動方法：

1. POLY ボタンを長押しします。
2. そのまま BYPASS フットスイッチを 1 回押します。その後に POLY ボタンを離します。
3. BYPASS の LED が素早く点滅し、BYPASS スイッチでのトリガーが ON になったことを示します。
4. 通常のトリガー方法に戻りたい場合は、1 と 2 の手順を繰り返します。BYPASS の LED がゆっくりと点滅したら、元の状態に戻ったことを示します。

- 手動トリガーが有効になっている間は、通常のトリガーは無効になります。BYPASS スイッチをタップした時にのみエンベロープがトリガーされます。
- 手動トリガーモード使用中に Attack Decay をバイパスしたい時は、BYPASS フットスイッチを 2 秒間長押しします。
- バイパス中に BYPASS フットスイッチを 1 回押すと、再度エフェクトが ON になります。
- 各プリセットには手動トリガーの設定も保存されます。プリセット保存時に手動トリガーが有効になっていた場合は、呼び出し時にも自動で有効になります。

## 外部クロックによるトリガー

本機のEXPジャックは、エクスペッション・ペダルやCV(コントロール・ボルテージ)を接続する以外にも、外部からクロック信号を入力してトリガーとして使用することも可能です。クロック信号の電圧の許容範囲は1.5Vpp～15Vppです。

外部クロックトリガーの使用方法：

1. POLY ボタンを長押しします。
2. そのまま PRESET 1 ボタンを 1 回押します。その後に POLY ボタンを離します。
3. PRESET 2 ボタンが素早く点滅し、クロック信号での入力が ON になったことを示します。
4. OFF にしたい時は 1 と 2 の手順を繰り返します。OFF になると PRESET 2 ボタンがゆっくりと点滅し、機能が無効になったことを示します。

- 外部クロックが有効かつ EXP ジャックにプラグが接続されている間は、通常のトリガーは無効になります。再度有効にするには、EXP ジャックからプラグを抜くか、外部クロックを無効にします。
- 外部クロックの設定は各プリセットに保存されます。

## 内蔵コンプレッサーの有効/無効化

オリジナルのAttack Decayには、入力信号にかかるコンプレッサーが内蔵されていました。これはサステインのボリュームを持ち上げて、アタックとディケイの各エンベロープに入力する信号の量を増やすためです。新しいAttack Decayには、信号の検知とHarmonixファズの間に、このコンプレッサーをエミュレートした機能を搭載しています。コンプレッサーはPolyとMonoの各モードで有効/無効化できます。デフォルトではどちらも有効になっています。

内蔵コンプレッサーを有効/無効にする：

1. Mono モードでの設定を切り替える時は、POLY ボタンが消灯していることを確認します。
2. Poly モードの時は、POLY ボタンが点灯していることを確認します。
3. POLY ボタンを長押ししながら、同時に PRESET 3 を長押しします。
4. 2 つのボタンを押しながら、PRESET 2 ボタンを 1 回押します。その後 2 つのボタンを離します。
5. PRESET 1 ボタンがゆっくりと点滅し、コンプレッサーが OFF になったことを示します。
6. ON にするには、3 と 4 の手順を繰り返します。すると PRESET 1 ボタンが素早く点滅し、コンプレッサーが ON になったことを示します。

各プリセットにはコンプレッサーの設定も保存されます。

## ハーモニクスファズの位置の変更

通常の場合、HarmonixディストーションはSENDジャックの直前に位置しており、SEND信号に歪みがかかる設定になっています。お好みでエフェクトループ内の位置を変えて、リターン信号に歪みをかけることも可能です。

下記の手順でハーモニクスの位置を変更します：

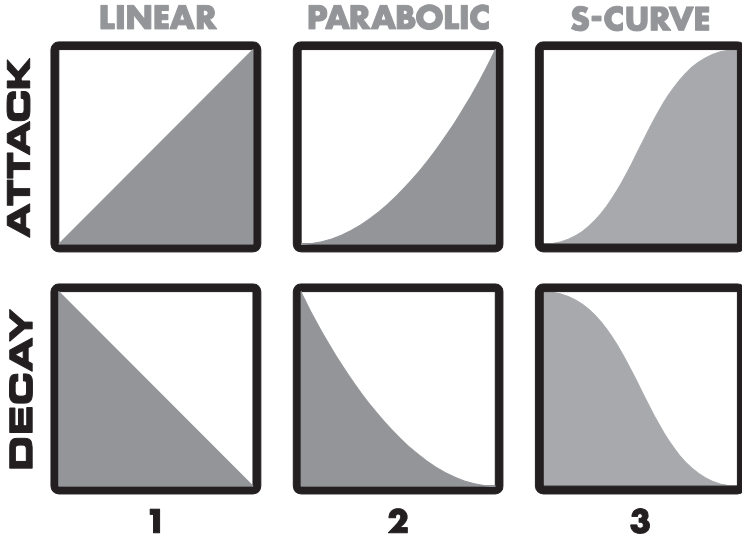
1. POLY ボタンを長押ししながら、同時に PRESET 3 を長押しします。
2. そのまま PRESET 1 を 1 回押します。その後 2 つのボタンを離します。
3. PRESET 2 ボタンが素早く点滅し、Harmonix ディストーションが RETU RN ジャックの後ろに移動したことを示します。
4. 元に戻すには、1 と 2 の手順を繰り返します。すると PRESET 2 がゆっくりと点滅し、元の設定に戻ったことを示します。

- 各プリセットには Harmonix の位置も保存されます。
- RETURN ジャックに何も接続されていない時は SEND の手前にエフェクトがかかりません。

## エンベロープカーブ調整 ※Monoモードのみ

Monoモードでは、ボリュームエンベロープに3種類のカーブを設定できます。これらの設定はPOLYモード使用時は適用されません。アタック(フェードイン)とディケイ(フェードアウト)に別々のカーブを設定できます。

カーブはリニア(直線)、パラボリック(放物線)、Sカーブ(S字曲線)の3種類です。



アタック・エンベロープの変更方法：

1. POLY と PRESET 2 ボタンを長押しします。
2. そのまま PRESET 1 を 1 回押します。その後 2 つのボタンを離します。
3. プリセットボタンのうち 2 つが点灯し、1 つが点滅します。点滅しているボタンが現在設定しているカーブを示します。
4. PRESET 1 がリニア (直線)、PRESET 2 がパラボリック (放物線)、PRESET 3 が S カーブ (S 字曲線) です。
5. アタックに設定したいカーブのボタンを 1 回押します。選択されたボタンは素早く点滅し、エンベロープカーブが選択されたことを示します。

ディケイ・エンベロープの変更方法：

1. POLY と PRESET 2 ボタンを長押しします。
2. そのまま PRESET 3 を 1 回押します。その後 2 つのボタンを離します。
3. プリセットボタンのうち 2 つが点灯し、1 つが点滅します。点滅しているボタンが現在設定しているカーブを示します。
4. PRESET 1 がリニア (直線)、PRESET 2 がパラボリック (放物線)、PRESET 3 が S カーブ (S 字曲線) です。

5. ディケイに設定したいカーブのボタンを1度押します。選択されたボタンは素早く点滅し、カーブが選択されたことを示します。

プリセットを保存すると、選択したカーブの情報も保存されます。

## Attack Decayのヒント

---

一番ギター側もしくはそれに近い順番で接続する

- インプット音を正しく認識させるために、エフェクトチェーンの一番ギター側（もしくはそれに近い順番）に接続することをお勧めします。コンプレッサーやピッチシフターより後ろでも構いませんが、ディストーションやワウよりは手前に接続するのがベストです。

音が大きすぎる / 小さすぎるときは

- Attack Decay は信号の増幅回路を備えているため、幅広いレンジのアウトプットボリュームに設定できます。設定によっては音量が小さすぎる / 大きすぎると感じるでしょう。アウトプットボリュームはアンプのゲイン量にも影響するため、バイパス時とのバランスを考慮しながら調節する必要があります。
- ゲインが上がるということは、よりクリップしやすくなるということでもあります。思ったよりも歪んでいるように感じた時は、多くの場合 VOL ノブを下げることで解決できます。
- 同じく、Harmonix ファズもゲイン量が上がる要因になりえます。ファズの効き方を理解するまでは、H.VOL を下げた設定から音を作っていくことをお勧めします。

MONO モードでの演奏時

- MONO モードの使用中は、アルペジオなどで複数弦を同時に鳴らすと音が正しく検知されない場合があります。そのため1音ずつ弾くことをお勧めします。
- MONO モードでもコードストロークを検知することは可能です。この場合は1回のストロークに対してコード全体にエンベロープがかかります。
- CE(トレモロ)モードでも、音を検知する度に新しいエンベロープがトリガーされて、アタック⇒ディケイの順番でエフェクトがかかります。
- この時に SENS ノブを最低まで下げれば、トリガーされずに一定の波形でトレモロがかかります。

### Polyモードでの演奏時

- Poly モード時はアタックとディケイのどちらかを使うと効果的ですが、両方を使ってユニークな音を出すこともできます。
- ATTACK/DECAY ノブで設定するエンベロープタイムは、同じ位置でも Poly モードと Mono モードで長さが異なります。
- エフェクトループ使用時は、Poly モードのアルゴリズムは RETURN ジャックの直後に配置されます。
- Poly モード時に CE モードを使用すると、トレモロというよりもカスケードフィルターのような独特のエフェクトがかかります。

### Harmonixディストーション

- HARMONIX ノブを最大まで上げると、楽器を弾いていない時も大きなノイズが発生します。ノブを 4 時より下げることでノイズを解消できます。
- HARMONIX ノブを最大位置から下げると、一瞬だけ信号がミュートされますが、これは通常の動作で不具合ではありません。

## セカンダリーモード一覧と設定方法

Attack Decay Secondary Mode	最初に長押し / 次に1回押す	備考
エクスプレッションの設定変更	<b>BYPASS FSW/ PRESET 1</b>	エクスプレッションペダルやCVで どのノブを操作するか決定する
プリセットの保存 (変更後の再保存)	<b>PRESET 1, 2, or 3</b>	2秒間長押しする
プリセットの呼び出し	<b>PRESET 1, 2, or 3</b>	1回押してプリセットを呼び出す
プリセットモードから Liveモードへ戻る	<b>PRESET 1, 2, or 3</b>	1回押して現在のノブの設定に戻る
プリセットから変更	--	プリセット呼び出し後に いずれかのノブを動かす
プリセットのリロード	<b>PRESET 1, 2, or 3</b>	点滅中のボタンを押して プリセットの設定に戻る
フットスイッチの プリセットの操作	<b>HARMONIX FSW</b>	HARMONIXフットスイッチで プリセットと現在のノブの設定を 切り替える
コンティニュアス・エンベロープ (トレモロ)	<b>BYPASS FSW/ HARMONIX FSW</b>	自動でボリューム・エンベロープ を繰り返す
アタックエンベロープのカーブ変更	<b>POLY + PRESET 2/ PRESET 1</b>	Monoモードのみ： リニア(直線)/パラボリック(放物線) /Sカーブ(S字曲線)の選択
ディケイエンベロープのカーブ変更	<b>POLY + PRESET 2/ PRESET 3</b>	Monoモードのみ： リニア(直線)/パラボリック(放物線) /Sカーブ(S字曲線)の選択
Harmonixブレンドモード	<b>BYPASS FSW/ PRESET 2</b>	BLENDノブでエンベロープへ送る ドライ/ハーモニクスのパランス調節
リターンブレンドモード	<b>BYPASS FSW/ PRESET 3</b>	BLENDノブでリターン信号と エンベロープのパランス調節
Harmonixの位置変更	<b>POLY + PRESET 3/ PRESET 1</b>	POLYとPRESET 3を押しながら PRESET 1を1回押す
リターンバイパス (バイパス時にエフェクトループを適用)	<b>POLY + PRESET 3/ BYPASS FSW</b>	バイパス時にRETURN⇒OUTPUTへ スルーします
BYPASSフットスイッチでの 手動トリガー	<b>POLY/ BYPASS FSW</b>	BYPASSスイッチで エンベロープをトリガー (通常のトリガーは無効)
外部クロックでのトリガー	<b>POLY/ PRESET 1</b>	EXPジャックに入力する クロック信号でトリガー (通常のトリガーは無効)
内蔵コンプレッサー	<b>POLY + PRESET 3/ PRESET 2</b>	内蔵コンプレッサーのON/OFF
ファクトリーリセット	<b>BYPASS</b> BYPASSを踏みながら 電源を接続する	プリセットとセカンダリーモード の設定を 工場出荷時の状態に戻す

本体の表示	モードの終了	プリセットに保存される /グローバル設定
<b>PRESET 1 &amp; Status LED</b> ゆっくり点滅する。エクスペリションを設定した ノブの操作に合わせて点滅が速くなる	モードへの移行後に PRESET 1を2回押すと元に戻る	Saves to Presets
<b>PRESET 1, 2, or 3</b> 素早く点滅した後に消灯する	ボタンを離す	--
<b>PRESET 1, 2, or 3</b> 点灯する	--	--
<b>PRESET 1, 2, or 3</b> LEDが消灯する	--	--
<b>PRESET 1, 2, or 3</b> 選択中のプリセットが点滅する	--	--
<b>PRESET 1, 2, or 3</b> 点灯する	--	--
<b>P LED</b> LEDが点灯=フットスイッチが有効 LEDが消灯=フットスイッチが無効	P LEDの表示が 変わったら離す	Global
<b>PRESET 1</b> 素早く点滅=CE ON <b>PRESET 3</b> ゆっくり点滅=CE OFF	両方のスイッチを離す	Saves to Presets
全てのプリセットLEDが点灯 素早く点滅=選択中のカーブ	全てのボタンを離して 選択したいカーブのボタン を1回押す	Saves to Presets
全てのプリセットLEDが点灯 素早く点滅=選択中のカーブ	全てのボタンを離して 選択したいカーブのボタン を1回押す	Saves to Presets
<b>PRESET 2 &amp; Status LED</b> 2つのLEDが異なる速さで点滅	<b>PRESET 2</b> を1回押すと戻る	Blend setting is saved to presets
<b>PRESET 3 &amp; Status LED</b> 2つのLEDが異なる速さで点滅	<b>PRESET 3</b> を1回押すと戻る	Blend setting is saved to presets
<b>PRESET 2</b> 素早く点滅= RETURN⇒Harmonix ゆっくり点滅= Harmonix⇒SEND	全てのボタンを離す	Saves to Presets
<b>Status LED</b> 素早く点滅=リターンバイパスが有効 ゆっくり点滅=リターンバイパスが無効	全てのボタンを離す	Blend setting is saved to presets
<b>Status LED</b> 素早く点滅=フットスイッチトリガーが有効 素早く点滅=フットスイッチトリガーが無効	--	Blend setting is saved to presets
<b>PRESET 2</b> 素早く点滅=外部トリガーが有効 ゆっくり点滅=外部トリガーが無効	--	Saves to Presets
<b>PRESET 1</b> 素早く点滅=コンプON、遅い点滅=コンプOFF	ボタンを離す	Saves to Presets
プリセットLEDが点滅するまで BYPASSを踏み続ける	フットスイッチを離す	全てのプリセットと 設定が消去される



——— 正規輸入代理店 ———

**株式会社 キョーリツコーポレーション**

〒468-0002

愛知県名古屋市長白区焼山 1 丁目 813 番地

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp